

# 地域活動支援センターよげごん

## 【キーワード】

(施設種別) 高齢者施設 障がい者施設 子ども施設 住宅 ( )  
(運営主体) 市区町村 法人 NPO 個人 (補助金) 内閣府 国土交通省 厚生労働省 ( )  
(建物形式) 1棟単体型 複数棟集合型 団地型 (建物状況) 新築 増築 改修 一部改修 既存  
(対象者) 高齢者 障がい者 子ども ファミリー 多世代



写真1. 外観写真

よげごんは、地域活動支援センターであるが、障害者に限らず、高齢者の利用もされている。一般社団法人八丈島ドロップスによって運営され、障がい者・高齢者の居場所となっている。昼食作りや、レクリエーション等の活動を通して、利用者が交流するほか、自分にできることを見つける場として開所されている。

## ■施設概要

所在地：東京都八丈島八丈町大賀郷 1463

建築種別：地域活動支援センターⅡ型

運営主体：一般社団法人八丈島ドロップス

運営開始：2018年4月16日

開所日時：月曜 13時～17時（予約制）

水曜 10時～15時（自由通所）

土曜 10時～15時（自由通所）

定員：15名

スタッフ：9名



図1. 立地周辺 (Google マップから引用\*)

バス通所：大小前・大脇前・裁判所前バス停にて下車

マイカー通所：よげごん駐車場の利用

自転車：よげごん駐車場の利用

## ■法人理念

一般社団法人八丈島ドロップスは、既存の資源で活かされきれない生きづらさを抱える当事者や、そこに集い生きていきたいと思う者たち誰もがその主権を当たり前に尊重される場を創り出したいという思いから設立された。誰もが自由に参加でき、そのひと自身らしく地域の中で《生きる・在る・はたらく》ことのできる場を目指し運営され、困難に直面するだれひとりも、孤立することのない社会をみんなでつくることを考え行動している。活動は、居場所部門【よげごん】自然養鶏部門【とーとーめ】・ヘルパー部門【ドロップス】3つの部門により構成され、障がい者の仕事や、行動援護、日中の居場所等の提供がされている。



写真2. 食事の様子 (公式ブログから引用)

よげごん開所1周年を記念した食事会  
1年の振り返りをしながら、利用者と楽しく会話をする様子

## 参考文献

1) Google マップ

<https://www.google.co.jp/maps/@32.9998961,138.4293071,5z?hl=ja> 2020.11.15 参照

1) 八丈島ドロップスブログ | 【公式】

<http://hachi-jo-drops.sblo.jp/article/183051607.html> 2020.11.15 参照

2) 一般社団法人八丈島ドロップス (団体ID: 1084282456) / 団体情報 | CANPAN 2020.11.15 参照



写真3. 昼食作りの様子 (公式ブログから引用)

開所日の水・土曜日には昼食作りプログラムがあり、利用者それぞれが自分にできることを見つけ、協力して昼食を作る。



写真4. 食堂 (公式ブログから引用)

食事をする他、利用者が協力して料理をする際などに使用される。



写真5. 居間 (公式ブログから引用)

普段、卓球台は作業台として使用されている。時折、卓球や、卓球バレーなどを行う遊びの場となる。

## ■全体概要

よけごんは、障がい者ヘルパーをしていたスタッフの一人が、一方通行ではなく、一緒にやる場を作りたいという思いで自宅開放のイベントを開催しており、このように集まれる・関われる場が常に島のどこかにあったらいいなという思いから開設された。

既存の建築を利用し運営され、玄関部のみを改修し利用されている。毎週月・水・土曜に開所され、町の権限により障がい者のみを対象とせず、高齢者も制限なく利用できるようになっている。市町村事業であるため、利用者にとっては無料で利用でき、定員は15名だがオーバー気味である。利用者の居場所として運営されるよけごんの他に、自然養鶏を行い、この事業が利用者の仕事につながっている。スタッフは9名で、完全にスタッフだろうという方と、当事者兼スタッフであろうという方が混ざり合いながら活動している。



写真6. 玄関様子 (公式ブログから引用)

車いす用のスロープ

利用する際に取り付けられる

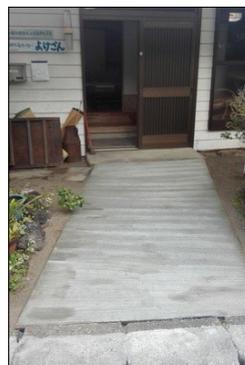


写真7. 玄関アプローチ (公式ブログから引用)

車いす利用者だけでなく、足元が危うい方にも安心して利用してもらえるよう、利用者の息子さんが改修

### ■居場所部門【よけごん】

よけごんは、毎週月・水・土曜日に開所される。バスや自家用車でのアクセスのほか有料ではあるが送迎もあるため、利用しやすい環境になっている。活動内容として水・土曜日は昼食プログラムとして利用者で協力し合い昼食を作る活動が行われる。利用者は、メニュー決めや買い物、調理、後片付けなどそれぞれができることを見つけ作業する。毎月水曜・土曜に各1回ずつの計2回、定例ミーティングが行われ、楽しく活動できるよう、意見の出し合いがされる。利用者は日々の生活の中で、料理や包丁研ぎなど、自分にできることを見つける活動のほかに、自然養鶏部門【とーとーめ】で産まれた卵の計測のほか、牡蠣の殻を砕くといった仕事をしている。また、ひな祭りやクリスマスパーティーなどの時期に合わせたイベントや、利用者からの「釣りに行きたい」「みんなで外食したい」といったリクエストに応じた活動が行われている。よけごんでは、地域との交流をとるため福祉まつりや島の神社の祭りなどに積極的に参加している。

利用者や周辺住民、様々な人から支えられながら開所され、島ならではの交流がとられている。

### ■自然養鶏部門【とーとーめ】

自然養鶏部門【とーとーめ】では、減農薬・無化学肥料・遺伝子組み換えの100%八丈島産飼料を目指し、養鶏を行っている。餌に使用する、酒かすや魚のアラなどは地域の方からの頂き物が使用され、島ならではのコミュニティの下、地域の方に支えられながら活動している。とーとーめは卵を送る援助会員の仕組みと、寄付で運営されている。スタッフの養鶏経験がないため、島の人から教えてもらいながら、試行錯誤し行われている。養鶏を行う小屋は地域住民協力の下、スタッフによって建てられた。

よけごんでは、利用者が産まれた卵を計測し、島内のスーパーで行われる市場などで出品される他、孵化させ、ヒヨコを小屋に戻せるよう、大きくなるまで育てるといった活動が行われ、この活動が利用者の仕事になっている。



写真8. ひな人形を飾る様子（公式ブログから引用）  
季節のイベントとして、ひな祭りやクリスマスパーティーを行っている



写真9. 釣りを楽しむ様子（公式ブログから引用）  
利用者のリクエストとして「釣りに行きたい」というものがあり、利用者で釣りに出かけた様子



写真10. 養鶏小屋建設の様子（公式ブログから引用）  
地域住民協力の下、スタッフが養鶏所を建設



写真11. 自然養鶏部門【とーとーめ】(公式ブログから引用)  
 養鶏は配合飼料を使用せずに行われている。  
 魚のアラを茹でてあげたり試行錯誤しながら育てられる。



写真14. ヒヨコを育てる様子(公式ブログから引用)  
 孵化したヒヨコはよけごんで育てられ、大きくなってから小屋に帰される。



写真12. 卵の計測(公式ブログから引用)  
 よけごん利用者が卵を販売するため、大きさ等を計測する。  
 利用者の仕事になっている。



写真15. ドロップス公式ブログ(公式ブログから引用)  
 一般社団法人八丈島ドロップス公式ブログ。居場所部門【よけごん】・自然養鶏部門【とーとーめ】・ヘルパー部門【ドロップス】の活動内容が掲載される。



写真13. 卵の販売(公式ブログから引用)  
 とーとーめで産まれた卵は、よけごんで食べるほかに、島内のスーパーで行われる市場で販売される。



写真16. 家具リサイクル  
 活動の1つとして、いらなくなった家具を回収し販売を行い、売上げはよけごんの活動資金となる。以前は、よけごんの敷地内で行われていたが、現在は商品の増加と、需要の高さから、新たに場所を借り販売を行っている。